

平成27年度（第19回）

熊本市中学生による 子ども議会

とき 平成27年8月7日（金）午後1時30分
ところ 熊本市議会議場

議 事 次 第

- 市議会議長あいさつ
- 子ども議会議長選出
- 開会
- 子ども議会副議長選出

議 事 日 程

第一 市長施政方針演説

第二 一般質問

- 1 地下水の保全とポイ捨て禁止の啓発について **【第4班】**
 - (1) 「くまもと水検定」について
 - (2) ポイ捨て禁止条例とごみバッグについて
- 2 これからの熊本市と投票率向上について **【第1班】**
 - (1) 将来のまちづくりの計画について
 - (2) 多くの若い世代に投票してもらうための工夫について
- 3 自転車の安全な利用とスマートフォンの課題について **【第2班】**
 - (1) 自転車の安全な利用について
 - (2) スマートフォンの課題と相談体制について
- 4 障がいのある人が暮らしやすいまちと当番医の充実について **【第3班】**
 - (1) 障がいのある人が暮らしやすいまちについて
 - (2) 当番医の充実について
- 5 外国人観光客受け入れと農業後継者不足問題について **【第5班】**
 - (1) 外国人観光客の受け入れについて
 - (2) 農業後継者不足の問題について
- 6 通学路の安全性向上と公共交通機関の利用促進について **【第6班】**
 - (1) 通学路の安全性向上について
 - (2) 公共交通機関の利用促進について

- 閉会
- 市議会副議長あいさつ

平成27年度（第19回）熊本市中学生による子ども議会

1 目 的 子どもたちの市政に対する意見を聞くとともに、次代を担う子どもたちが熊本のくらしや未来について語り合うことで、自他を大切にする市民としての意識を高める。

2 主 催 熊本市・熊本市議会・熊本市教育委員会

3 参加者 熊本市内の中学生 52人

熊本市立中学校42校から42人

私立中学校9校から9人

熊本大学教育学部附属中学校から1人



H27年度 子ども議員

4 内 容 研修会① 7月27日(月) 9:30～16:30 市議会について、質問作り
研修会② 7月30日(木) 9:30～16:30 質問完成、リハーサル、市長室訪問
本会議当日 8月 7日(金) 9:30～12:00 リハーサル等
13:30～15:30 本会議

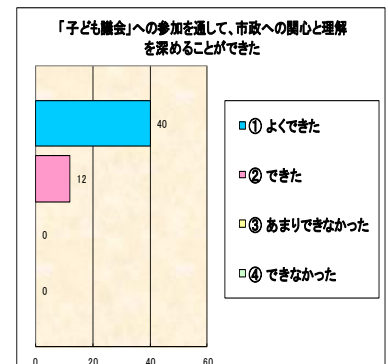
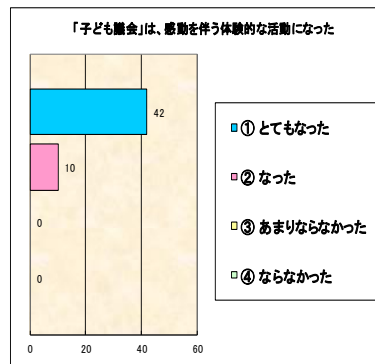
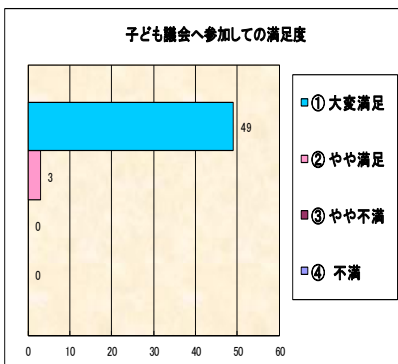
議会常任委員会分野ごとに6班（各班8～9人）を編成し、市政に対する要望・課題・疑問について焦点化を行い、改善案や提案事項を話し合い、質問案を作成し、本会議において質問をする。

5 参加者の主な感想

- ・熊本市について深く考えたことがなかったので、とてもためになった。
- ・自分が住んでいる所をしっかりと見て、もっともっといろいろなことに気づいていきたい。
- ・「熊本市のまちづくり」に興味をもち、自分にできる最大限の工夫をしていきたいと思いました。
- ・これからの未来を背負っていく私たちが、身近なところからいろいろなことに目を向けて、社会を住みやすくしていきたい。
- ・みんなで一緒にいろいろな角度から意見を出し合い、協力してまとめことができ、よい刺激を受けた。これからの政治に目を向けていきたいです。
- ・他校の人たちと真剣に話し合えてよかった。終わった後の達成感とか、とてもよい経験になりました。
- ・今まで熊本の様々なことについて考えたり話し合ったりする機会がなかったのですが、この経験を通して関心が高まり、18歳になったら選挙等に生かしていきたいと考えています。

（高校生の感想より）

- ・子ども議会に参加して、熊本市民の一人として行動したいと思いました。
- ・今回の子ども議会を通して、自分の考えをしっかりとめました。このことを高校に帰って広めていきたいと思います。



<子ども議会終了後の子ども議員へのアンケートより>

1班 これからの熊本市と投票率向上について

【質問①】

将来のまちづくりの計画のワークショップに、中学生は参加しにくい。中学生が意見を言える場を作ってほしい。

【答弁①】

中学生同士が将来の熊本市のことを大いに語り合えるよう、今後、職員が学校に出向き意見交換を行うワークショップを開催していきたい。

【質問②】

選挙権年齢が18歳以上まで引き下げられた。今後、多くの若い世代に投票してもらうためにどのように取り組む予定か。

【答弁②】

利便性が高い市役所本庁付近に全ての区の期日前投票所を増設する準備をしている。また、中高校生を対象とした出前授業の更なる実施に努める。

2班 自転車の安全な利用とスマートフォンの課題について

【質問①】

自転車のルールが守られていない。交通ルールを守るため、クイズ形式のテストを小中学校で行ってはどうか。

【答弁①】

交通ルールの遵守と交通マナーの向上は大変重要。交通ルールのテストは良いアイデアなので、来年度の1学期の実施に向けて取り組む。

【質問②】

「きずな」アンケートにSNSに関する質問を加えてはどうか。また、もっと気軽に相談できるように検討できないか。

【答弁②】

提案については、今後、校長会等で、学校のアンケート項目に追加するように働きかける。また、身近な相談機関について周知の仕方を工夫する。

3班 障がいのある人が暮らしやすいまちと当番医の充実について

【質問①】

障がいのある人が暮らしやすいように、障害のある人の意見を取り入れる機会や理解を深める機会を充実してほしい。

【答弁①】

これまでも、障がい者プランの策定など意見を聞く機会を設けてきた。今後も、障がいに対する相互の理解が進むための取り組みに努める。

【質問②】

病気になった時、すぐに病院に行けるよう、休日当番医の充実のため、当番医のローテーション制度を取り入れてはどうか。

【答弁②】

当番医のローテーション制度は良いアイデアだが、拡充は難しい。本市の充実した医療体制を将来にわたって維持していくため、皆さんのご協力をお願いしたい。

4 班 地下水の保全とポイ捨て禁止の啓発について

【質問①】

熊本市の地下水を知ってもらうため、「くまもと水検定」の認知度を高める取り組みができないか。地下水保全の取り組みは。

【答弁①】

学校での効果的な周知に努め、公共交通機関での周知も実施に向けて検討する。また、「節水 218 運動」や地下水を育むための森林整備等、地下水保全に取り組む。

【質問②】

「ポイ捨て禁止条例」の周知と、外出時に自分のゴミを持ち帰るための「ごみバッグ」を持つようにしたらどうか。

【答弁②】

小中学校での出前講座やインターネットも活用し、「ポイ捨て禁止条例」を周知する。「ごみバッグ」はよい提案。今後も、快適な都市環境の推進に努める。

5 班 外国人観光客受け入れと農業後継者不足問題について

【質問①】

外国人観光客向けに、公共交通機関への Wi-Fi 設置、夜のイベント、食事クーポン券「まうごつうまか券」の発行などできないか。

【答弁①】

無料 Wi-Fi 環境の充実や夜のイベントの充実に努める。食べ歩きクーポン券「まうごつうまか券」はネーミングを含め素晴らしい。早速、具体的に検討する。

【質問②】

農業後継者不足解消のため、子どもたちの農業体験や農産物のブランド化など、熊本市の農業の魅力向上ができないか。

【答弁②】

農業の魅力向上は重要であり、6 次産業化、大都市圏や海外への販路拡大、インターネット販売等により、今後も農作物のブランド化に取り組む。

6 班 通学路の安全性向上と公共交通機関の利用促進について

【質問①】

環境にも配慮した照明灯の設置、わかりやすい路面表示などできないか。また、中学校の通学路でも安全点検をお願いしたい。

【答弁①】

中学校の通学路の安全確保については、関係機関や保護者を交え検討するとともに、引き続き路肩のカラー舗装等に取り組む。また、照明灯等の LED 化を進め、環境負荷の軽減に取り組む。

【質問②】

公共交通機関の利用促進のため、IC カードを使用できる場所を増やすなど、普及に向けた取り組みができないか。

【答弁②】

民間交通事業者等と連携・協力し、利便性の高い利用環境をしっかりと整え、交通系 IC カードの普及促進に取り組む。